

特別講座 マイ・ライブラリー ①

1. OJC 図書館を「マイ・ライブラリー」にしよう

皆さんは図書館で本を見つけた時、どうしていますか？ 書名やキーワードがはっきり分かっている場合、PCの蔵書検索（JOIN）で図書の有無を確認、請求番号を見て置かれている場所を探し当てる、というのが一般的な方法でしょう。JOINは確かに図書探しを容易にしてくれますし、今後もどしどし利用してください。ただし、機械にばかり頼っていると、次のような場合にしばしば不自由を感じるのではないのでしょうか。

- ・ JOINで資料を見つけたが、自分の関心とは内容がずれていた
- ・ 関心が漠然としていて、これといったキーワードが思いつかない
- ・ 本屋で書棚を見ながら読みたい本を見つけるように、視野を広げた上で本を選びたい

こうした時、もし皆さんがOJC図書館の「地理」を分かっていると、問題はずっと解決しやすくなります。「この分野の本なら、あの辺りにありそうだ」と勘がはたらけば、実際の書架へと足を運び、本の背表紙をじっくり眺め、そして「これは」と思う書名の本をすぐ手にとって、内容を確認することができますね。また、ある本を探すために書架全体を眺めていると「こんな本もある」「これも面白そうだ」などと好奇心がくすぐられ、思いがけず自分の視野が広がったり、知識を深めるきっかけが得られるものです。

「わが街（マイ・タウン）」を歩いていて感じるような自由自在さを、ぜひOJC図書館でも感じられるようになってほしいですね。今日はそのための導入授業「マイ・ライブラリー」を行います。

2. 図書館の本は「NDC(日本十進分類法)」にそって並んでいる

NDCは図書館の資料を整理・配列する際に用いられる分類法の代表的なもので、OJC図書館もこの方法を採用しています。まず下表のとおり、あらゆる知識分野を大きく1～9に分類します（1～9に属さないもの、知識全般に関するもの、また幾つかの分野にわたるものは0に分類）。そして、各分類の内部でさらに細目を設定し、それぞれに下位番号を与えています。【別紙「NDC類目標」参照】

0. 総記	1. 哲学, 宗教	2. 歴史, 地理	3. 社会科学	4. 自然科学
5. 技術	6. 産業	7. 芸術	8. 言語	9. 文学

3. クイズ「この本のNDCは何？」

 <p>北原保雄『問題な日本語』 (大修館書店)</p>	 <p>正木晃『はじめての宗教学:「風の谷のナウシカ」を読み解く』(春秋社)</p>	 <p>大西健丞『NGO, 常在戦場』 (スタジオジブリ)</p>
<p>NDC (3ケタ):</p>	<p>NDC (3ケタ):</p>	<p>NDC (3ケタ):</p>